

春の驟雨（1932）

MARIE

メディア 映画

ジャンル

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 66分

初公開日 1933/06

公開情報 劇場公開

【解説】

ハリウッドから10年ぶりに故国ハンガリーに戻ったP・フェヨシュが仏の映画会社の依頼で、「ル・ミリオン」でスターとなったアナベラをヒロインに迎え演出した寓話的メロドラマ。白い花咲くリンゴの樹の下、かぐわしい春の香りに忘我し、男の誘惑に負け、若くして父なし娘の母となった女は苦勞の末早世する。やがて、同じ様な春の夜、リンゴの樹の下に佇む年頃の我が娘を天界から見た母は、驟雨を降らし娘の純潔を守る。ハンガリーの伝説を元にした物語で、サイレントの名残を心地よく湛える演出が、後半の母の昇天や驟雨の場面では素朴な特撮を駆使し表現主義的に高まって、とてもロマンチックで感動的。

【クレジット】

監督 パウル・フェヨシュ Paul Fejos

脚本 エローナ・フェロエグ

撮影 ヴェレル・マーレイ

出演 アナベラ Annabella

カルロラ・ツァーラ